

町田・相模原のビジネスをリードする町田・相模原経済同友会 会報

武相エコノミスト

Vol.19 2024.8.1

BUSO ECONOMIST



町田市長

Special Feature 石坂 丈一

町田・相模原経済同友会 代表幹事

町田市議会議員・議長

細野 泰司

木目田 英男

企業と人

朝日リビング株式会社 代表取締役社長

田代 雅司

夢と希望をたくさん描き、 誰もが輝く未来づくりを目指す

町田市議員・議長 町田・相模原経済同友会 代表幹事
石坂 丈一 × **木目田 英男** × **細野 泰司**

人口減少に少子高齢化、物価高騰に経済格差、さらに価値観の多様化がもたらす社会構造の変化も進む中、町田市は時代に即した街と地域の再構築を図るべく「まちだ未来づくりビジョン2040」を始動させた。その施策の意義や、多摩都市モノレール町田方面延伸の有効性などについて、石坂丈一市長と、市議会議長の木目田英男氏、町田・相模原経済同友会の細野泰司代表幹事が語り合う。

町田の未来をみんなで描く

細野 私ごとで恐縮ですが、この6月に町田・相模原経済同友会の代表幹事に就任いたしました。先輩方が引つ張ってきた組織の歴史を重んじながら、ますます地域経済の活性化に貢献したいと思えます。石坂市長および市議会の皆様には、私どもの取り組みにご理解をいただけるよう改めてお願い申し上げます。

さて、今回は町田市のまちづくりの基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」について伺います。まず、その趣旨をお聞かせください。

石坂 2012〜2021年度の基本計画「まちだ未来づくりプラン」の満了を機に、2022〜2039年度の基本構

想・基本計画として「まちだ未来づくり

ビジョン2040」を策定しました。その背景には、1958年の市政施行から一貫して増加を続けてきた市の人口が、2018年に減少に転じたことなどがあります。しかも、2040年には団塊ジュニアが65歳を迎えるため、少子高齢化はいつそう進みます。そうした未来を見据えた新たな施策が必要だろうということで、基本構想を18年ぶりに、基本計画を10年ぶりに改訂しました。

細野 地域の未来に向けたビジョンを策定なさるうえで、市民の声をたくさんお聞きになったそうですね。

石坂 ええ。計画づくりのコンセプトのひとつに「なりた未来の姿の実現を自分ごとと受け止めてもらえるように、市民と一緒に策定する」ということがあり

再開発を抜きにして 前向きな経済活動は望めません。

——石坂

は7つのモノレール駅が新設されるということ、交通の便が良くなって人が集まることを期待しています。

街の最適化とモノレール延伸

石坂 1958年の市政施行から高度経済成長期を経て、町田市は都心や横浜へ通勤する方々のベッドタウンとして人口を43万まで増やしました。ただ、当時の住宅・都市開発から50年以上が過ぎた

今、施設もシステムも老朽化していて再開発は必須です。そのための原資やエネルギーをどのようにかまかなうのかは課題

が残りますが、再開発を抜きにして前向きな経済活動は望めません。私たちにも企業の皆様にも、新たな時代に対応する姿勢が求められています。

細野 企業にとっても体制を変えることは簡単ではありませんが、市の取り組みや施策と連携することで、地域経済を活性化させたいですね。

石坂 はい。民間の投資に加え、相応の財源を投入してでも新しいまちづくり事業に着手しなければいけない時期にきたという認識です。それが、町田・相模原の経済を活性化させるうえで大きな鍵を握っていると思います。

木目田 地域の定住人口・交流人口・関係人口が増えるに越したことはありませんが、一方で、人口減少や少子高齢化を趨勢として受け止めたくうえで対策を講じ



木目田 英男 Hideo Kimeda
町田市議員・議長

昭和49年、町田市成瀬が丘生まれ。東京大学経済学部卒業後、平成11年に野村不動産株式会社に入社。累計2,000戸のマンション・戸建分譲に携わったのち、平成19年に株式会社きめたハウジングに転職して不動産売買・賃貸仲介・管理など業務全般を経験。平成26年に市議会議員に初当選し、現在3期目。令和6年4月に議長に就任した。



細野 泰司 Yasuji Hosono
町田・相模原経済同友会 代表幹事

昭和23年、町田市生まれ。昭和45年に有限会社細野コンクリート(現:細野コンクリート株式会社)を創業し、一代で武相エリア有数の企業に育てあげた。町田商工会議所の初代会館運営委員会委員長や副会頭を務めた他、まちだシルクメロン事業の立ち上げに尽力するなど、地域経済の発展にも寄与してきた。令和2年には旭日双光章を受章。



石坂 丈一 Joichi Ishizaka
町田市市長

昭和22年、町田市野津田町生まれ。横浜国立大学経済学部卒業後、昭和46年に横浜市総務局に入局。公益財団法人NIRA総合研究開発機構や株式会社横浜国際平和会議場への出向、横浜市企画財政局勤務を経て、平成16年に横浜市港北区長に就任。平成18年に町田市市長に就任し、現在5期目を務める。趣味はバードウォッチング、版画、料理。



石阪 多摩都市モノレールは東京都主体の事業ですが、小池百合子都知事は3期目統投にあたって町田方面への延伸に着手すると明言されました。ですので、ようやくルートの整備が構想から事業化へ進む段階に入ると思います。ただ、東大和市の上北台から西多摩郡の瑞穂町を結ぶルートが

ること大切ではないでしょうか。昭和30〜40年代の人口増加に合わせて発展した街を現在の尺度で区画整理し直すと言いますか、まずは今の時代に生活されている皆様の満足度を高めるまちづくりを行い、それによって人が集まってくるという道筋もあるのではないかと。その時々で街を再構築したり、リサイズしたりすることは連続と行われてきましたので、初めて経験する人口減少・少子高齢化という局面に際しても、それに応じた最適化を行うべきだと思います。

細野 街の最適化という部分でも、モノレールの延伸や都市計画道路の整備はポイントになるかもしれません。

住み良いまちづくりを実現することは何よりも正しい。——細野

先なので、町田駅に到達するまでに14〜15年はかかると思えます。とはいえ、事業化は確実と見えていますので、皆様のご理解を得ながら、駅を作る場所の調整や用地の確保を加速させなければなりません。まさに今、それをスタートさせようというところです。

木目田 都知事がモノレールの延伸を表明したことは大きいですね。町田市だけでなく、町田・相模原経済同友会や町田商工会議所など、経済界の皆様が積極的にプッシュしてきた成果でもあります。

石阪 経済効果だけでなく、超高齢化社会を考えると、日常の足を構築するうえでモノレールは重要です。もともと交通

網が希薄なところにルートが計画されていますから、病院に通ったり、買い物やお食事へ行ったり、高齢者の方々が出かけしやすくなるはずです。

木目田 以前から指摘されていますが、町田は多摩方面や立川方面へ向かう縦のルートが弱いんですね。道路は渋滞しがちですし、電車で行こうとすると乗り継いで遠回りしなければいけません。町田市内に関しても、町田駅から忠生地区の団地や、FC町田ゼルビアの本拠地である野津田スタジアムへのアクセスは道路だけです。その点でもモノレールは有効な手段になります。地政学的にも町田は八王子と横浜の結節点、大山街道の結節点という地の利があり、人が集まりやすいクロスポイントなので、そこに磨きをかける余地は十分あると思います。そのためには、行政と民間が協力・連携することが大事でしょうね。

コラボでもっとまちづくり

石阪 町田市役所はこの4月、「Co-Laboまちだ（コラボまちだ）」という公民連携窓口を設置しましたが、これは市と民間企業の共同事業を推進するものです。今後は市の財政状況も今までどおりにはいかないはずなので、民間に協力する形で公益的の事業を展開する手段

時代に応じた街の最適化を行うべきだと思います。——木目田

を模索するべきだということとで立ち上げました。地域に貢献したい企業が自治体と力を合わせ、利益増・顧客増を見込みながら企業価値も高める……これからはそういう共生の時代だろうと。始動させたばかりですが、市も資金的なサポートだけでなく、一緒に事業を進めていく体制で臨みたいと考えています。

細野 私は最近、町田・相模原経済同友会の会員を募るために、あちこち回っているんですね。その中で気づくのは、私たちが知らないところにも地元で頑張っている会社や事業者は数多くいらっしゃるということです。「Co-Laboまちだ」は、そういう企業が世に知られるチャンスになるかもしれません。

木目田 労働力不足も危惧される中、こうした事業を起点に企業にも雇用を創出していただき、町田で働く人、住む人を増やせたら良いですね。市と民間がともに発展すれば、そこには人が集まり、人が回遊し、人が宿ります。経済界の皆様には、その一翼を担っていただけるようお願いいたします。また、地域コミュニティを維持するうえでも皆様のご協力は

不可欠です。というのも、かつては自治会や町内会が消防団を担ったり、お祭りを主催したりしていましたが、高齢化が進む中で運営が難しくなりつつあるからです。町田・相模原の事業者の方々に力添えいただくことで、「まちだ未来づくりビジョン2040」の一環である地域活性化も推進できると思うのです。

細野 もうひとつ興味深いのは、町田は今、これまでになくサッカーで有名な街になったことですね。日本全国どこへ行っても「ゼルビアの街」と言われるくらい盛り上がっていますので、「まちだ未来づくりビジョン2040」によって住み良いまちづくりを実現していただくことは何よりも正しいと思います。そのため、町田・相模原経済同友会もできる限り協力していく所存です。

石阪 町田・相模原経済同友会をはじめとする経済界の皆様には、チャレンジする力と豊かな経験をぜひ次世代に伝えていただきたいですし、起業支援の仕組みづくりなどにも期待しております。行政としても、DXを軸とするスマートかつスリムな事務事業の促進、社会情勢に応じた施策の方向性や目標値の柔軟なアップデート、前例踏襲から脱却して向上を図る職員の育成にも力を注ぎ、「まちだ未来づくりビジョン2040」の実現を目指したいと思えます。

例会報告

第136回例会 2024 2/15 (木) レンブラントホテル東京町田

多摩都市モノレールの現状と町田方面延伸

Monorails of Japan web site (M.J.W.S) 代表 田村拓丸 氏



第137回例会 2024 3/14 (木) レンブラントホテル東京町田

当面する国際情勢と日本の安全保障

元防衛大臣 森本 敏 氏



第138回例会 2024 4/11 (木) レンブラントホテル東京町田

J1に初挑戦するFC町田ゼルビアを下支えするサイバーエージェント流マネジメントについて

(株)ゼルビア代表取締役COO 上田武蔵 氏



第3回総会 2024 5/16 (木) レンブラントホテル東京町田

2024年定時総会終了報告

第139回例会 2024 6/13 (木) レンブラントホテル東京町田

東京の未来

東京都知事 小池百合子 氏



特別講演として、小池百合子東京都知事にご登壇いただきました。「東京の未来」と題し、少子高齢化対策、子育て支援、スタートアップ育成、中小企業への後押し、災害への対応、次世代のエネルギー技術革新など、幅広いテーマにわたってお話いただき、未来を見据えた東京の政策目標と実績についてご説明いただきました。会場は立ち見が出るほどの盛り上がりとなりました。



■会員一覧

朝日リビング(株)
(株)イーグル建創
SMBC日興証券(株) 町田支店
(学)桜美林学園
(株)オーディオテクニカ
(株)折本設備
(株)カイセ工業
(株)家具の大正堂
(株)ギオン
(株)きらぼし銀行 町田支店
草薙一郎法律事務所
(株)ケーユーホールディングス
相模原土地開発(株)
(株)三凌商事
(株)三和
シー・エイチ・シー・システム(株)
(株)JTB 相模原支店

(株)障害社
住友生命保険(相) 町田支社
西武信用金庫 町田支店
(株)ゼルビア(FC町田ゼルビア)
(株)創建
損害保険ジャパン(株) 町田支社
第一生命保険(株) 町田支社
大和証券(株) 町田支店
(株)タウンツアーズ
多摩信用金庫 町田支店
(福)竹清会
(医)直源会 相模原南病院
東京ガスライフパル澤井(株)
(学)東京町田学園
町田デザイン&建築専門学校
西松建設(株)
日本アルコール物流(株)

日本生命保険(相) 町田支社
野村證券(株) 町田支店
萩生田税務会計事務所
(株)八朗平
東日本電信電話(株) 東京西支店
ファシリティパートナーズ(株)
(株)フィルツ都市建築設計
細野コンクリート(株)
(株)ホームリーダー
(株)ホンマ電機
(有)マサハ
(株)町田双葉
(株)三菱UFJ銀行 町田支店
(株)三ノ輪建設
(株)明輝社
(株)山梨中央銀行 町田支店
(株)横浜銀行 町田支店

住まう人々の幸せと、 輝き続ける未来のために



朝日リビング株式会社 代表取締役社長

田代 雅司 Masashi Tashiro

町田を拠点に関東一円で事業を展開し、23区内への進出も進める不動産会社、朝日リビング。今や地域を牽引する企業のひとつだが、そこに至るには紆余曲折があった。飛躍的な成長と凋落、そして再生に向けた苦難の日々——。代表の田代雅司氏は、昭和・平成の経済史とも符合する、そんな茨の道をひた走ってきた。先代の志と顧客への感謝を胸に抱き、未来に挑み続ける氏の理念をひもとく。

の体力と胆力で営業実績を築き、トップセールスを叩き出し、氏は社内外で一目置かれるようになっていく。

SUCCESSION

しかし数年後のバブル崩壊で、それまで栄華を誇った企業がドミノ倒しのようになり、朝日リビングも窮地に立つ。物件の価値は半分どころか3分の1まで下がり、隆盛から一転、負債処理の日々。糊口をしのぎ再建を図るも道のりは険しく、ついに山之口氏は代表を退き、会長として経営を見守る決断をする。そして平成13年、後継者として田代氏に白羽の矢が立つのだった。親族外承継で、しかも38歳の若手を抜擢する異例の人事。当の本人も「私で良いものか」とずいぶん悩んだが、先代の心意気に押されて大役を引き受けた。

それからは資産を売却し、資金繰りに奔走し、ときにはリストラのような胃の痛む措置も講じて負債精算に邁進する。

ただ、辛さの一方で「見通しは決して暗くなかった」と氏。「自分なりに自信はありましたし、地道にやれば絶対に利益を出せると思っていました」。その言葉に違わず会社は徐々に回復し、約10年で健全化にこぎつける。何と言っても、信じてついてきてくれた社員たちの存在が大きかった。「経営において社員の協力は必須です。だから私も、皆がやりがいを持って働ける環境を提供しようという一念でここまで来ました」。

もちろん、山之口氏への想いも厚い。「苦難の中で会長として残ってくれて、二人三脚のように十数年やれたことは非常に心強かったですね。先代は地域振興にも尽力していましたから、その志までもしっかり継承していきます」。周知のとおり、山之口氏は町田・相模原経済同友会の発起人のひとりとして、地元の活性化に寄与した人物でもある。

CONTRIBUTION

かくして再生を果たした朝日リビングは、新たな市場を求めて新宿と浜松町にも進出。今後も23区内に店舗を増やす計画だという。と同時に、原点である団地事業の拡充にも余念がない。その柱をなすのが、団地リノベーションⅡ Dan Reno (ダンレノ)だ。昭和に建設された団地のリフォーム物件は昨今、とりわ

け若者・子育て世代に新鮮味を持って迎えられる。さらに、団地に住む顧客の生活上の困りごとに対応するサービスも始めた。「お客様を対象に会員を募り、月額料金をポイント化して、水道が詰まった、電球が切れたといった際に駆けつける体制を整えました。これは売上よりも、団地への恩返しとして取り組んでいます。ゆくゆくは高齢者の見守りなどもメニューに加えたいですね」。

「最も信頼される住まいの窓口」を目指して50年超、朝日リビングの不動産事業は今や社会貢献と同義のようだ。「私たちが大事にしているのは、住まう人が安心して幸せに過ごせること。人々をサポートする精神があつてこそその商売です。これからも皆様に手を差し伸べられる企業であり続けます」——そう語る田代氏の眼光是強く、実に頼もしい。

COMPANY PROFILE

朝日リビング株式会社

創業：1972年(昭和47年)2月

資本金：1,000万円

事業内容：不動産売買仲介・買取再販

賃貸仲介・管理

リフォーム施工・耐震

本店所在地：町田市森野 1-8-3 丸昌町ビル 3階

電話番号：042-726-5211

営業所：町田、多摩、新宿、浜松町、横浜

十日市場、辻堂、金沢、柏

千葉ニュータウン、大宮、志木

<https://www.asahi-lv.co.jp>

武相エコノミスト

題字 小山克己 (株式会社三和 顧問)

号数 第19号

発行日 2024年8月1日

発行所 一般社団法人 町田・相模原経済同友会

〒194-0013

東京都町田市原町田5丁目3-5 リシェール町田 211

TEL 042-732-3358 FAX 042-726-3577

制作 有限会社コムネットシステム

制作協力 エディットワークス

撮影 田坂圭 (P05を除く)

ABOUT US

町田・相模原経済同友会は、町田市と相模原市＝「武相」の発展を目指して設立されました。会員は両地域で躍動する企業の経営者たちで、「Think globally, act locally (グローバルな視野で地域を捉える)」の視点で多様な事象・課題について調査・研究・議論し、広く社会に影響を与えるべく、行政への提言や講演などの活動を行っています。

町田・相模原経済同友会
入会のお申し込み・お問い合わせ先

TEL 042-732-3358 <https://ms-doyukai.jp>



想いをつなぐ、「暮らし」の未来へ

We'1100

選ばれて、半世紀。

Since 1972

次の100年へと繋がる

第一歩。

この一歩も、お客様への感謝と共に。

不動産売買・賃貸・管理・リフォーム・耐震

朝日リビング株式会社

 **朝日リビング** -これからもずっとこの街と-

- | | | | | |
|-----------|---------|-----------------|------------|-----------|
| ■ 町田本社営業部 | ■ 多摩営業所 | ■ 浜松町営業センター(東京) | ■ 新宿営業センター | ■ 大宮営業所 |
| ■ 十日市場営業所 | ■ 横浜営業所 | ■ 千葉ニュータウン営業所 | ■ 柏営業所 | ■ 志木営業所 |
| ■ 湘南辻堂営業所 | ■ 金沢営業所 | ■ 東京リーシングセンター | ■ リフォーム事業課 | ■ ダンリノ事業室 |

【本社】

〒194-0022
東京都町田市森野1-8-3
丸昌町田ビル 2階

TEL: 042-727-1221 (代)

<https://www.asahi-lv.co.jp/>

